

平成20年度

佐伯市の財務諸表(概要版)

財務部財政課

平成20年度決算 佐伯市の財務諸表を公表します。

○ 新地方公会計制度とは

平成 18 年 6 月に「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」が成立し、同法を踏まえ、地方公共団体の資産・債務改革の一環として、総務事務次官通知「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」の中で財務諸表の整備をすることが求められています。これに基づき、本市の財政状況を市民によりわかりやすく提供するため、減価償却費などの企業会計的な手法を取り入れた財務諸表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の4表）として、総務省改訂モデルにて平成 20 年度財務諸表を作成しましたので公表します。

平成20年度 佐伯市の普通会計財務諸表(概要版)

これまでの地方公共団体の公会計制度は、その年にどのような収入があり、それをどのように使ったかといった現金の動きがわかりやすい反面、市が整備した資産や借入金などの負債といったストック情報や、行政サービス提供のために発生したコスト情報の不足といった弱点がありました。市民の皆さんにより詳しく市の財務状況を理解していただくために、総務省の推奨するモデルのうち、「総務省方式改定モデル」を用いて財務諸表(4表)を作成しました。

バランスシート

「バランスシート」とは、これまでの行政活動によって形成された道路、建物や土地などの資産とその資産を形成するために要した負債や財源との関係を示したもので、資産、負債、純資産の三つの要素から構成されています。

資産 2,450億円 市が所有している財産の内容と金額です。	負債 829億円 借入金(市債)や将来の職員の退職金など、将来世代の負担で返済していく債務です。
【内訳】 公共資産 2,222億円 道路、公園、学校、庁舎など	純資産 1,621億円 現世代が既に負担して、支払が済んでいる正味の資産です。
投資等 135億円 基金、出資金、長期延滞債権など	
流動資産 93億円 現金、預金、財政調整基金、市税未収金など	
うち歳計現金 5億円	
計 2,450億円	計 2,450億円

行政コスト計算書

人的サービスや給付サービスなど資産形成につながらない行政サービスの提供のため地方公共団体がどのような活動をしたかについてコスト(原価、費用)がいくらかかっているのかを整理したものが、「行政コスト計算書」です。

経常行政コスト(A) 【内訳】	396億円
人にかかるコスト	94億円
職員給与・退職手当など	
物にかかるコスト	129億円
物品購入、光熱水費、施設などの修繕費、減価償却費など	
移転支的コスト	136億円
生活保護費や児童手当などの社会保障給付、各種団体への補助金、操出金など	
その他のコスト	37億円
地方債の利子など	
経常収益(B)	13億円
行政サービスの利用で市民の皆様が直接負担する施設使用料や手数料などです。	
純経常行政コスト(A)-(B)	383億円
経常行政コストから経常収益を差し引いた純粋な行政コストです。	

資金収支計算書

1年間の市の現金の歳入(収入)と歳出(支出)が、どのような理由で増減しているかを性質別に分類して、その支出と財源の関係を確認するためのフロー式計算書です。

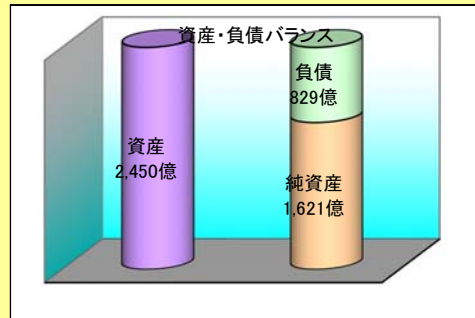
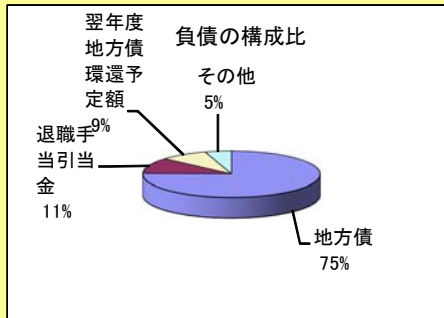
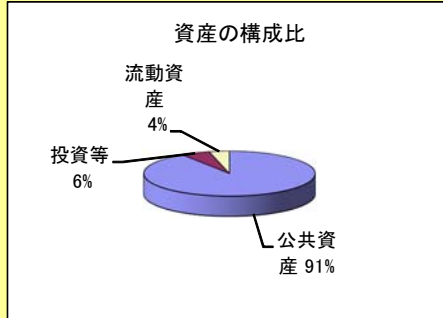
期首(19年度末)資金残高	9億円
当期収支	△4億円
【内訳】	
経常的収支	97億円
公共資産整備収支	△19億円
投資・財務的収支	△82億円
期末(20年度末)資金残高	5億円

純資産変動計算書

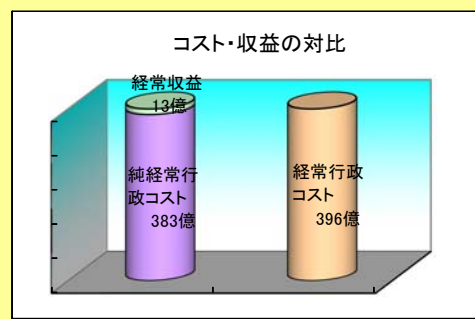
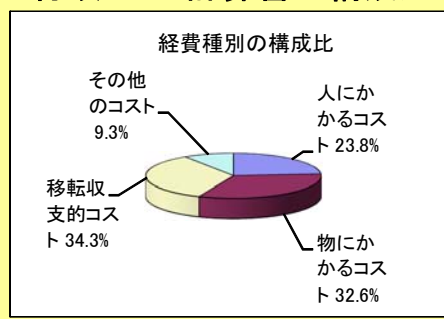
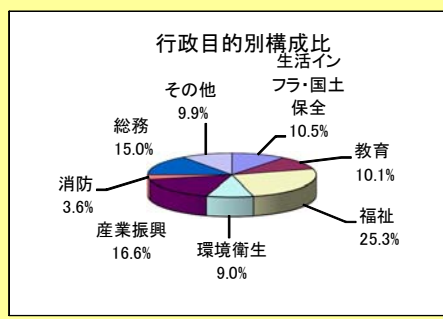
貸借対照表の純資産の部に計上された「公共資産等整備国庫補助金等」「公共資産等整備一般財源等」「その他一般財源等」「資産評価差額」の4項目について、当該年度の期首と期末でどのような変動要因があったのかを、フロー形式で示したものです。

期首(19年度末)純資産残高	1,607億円
当期変動高	14億円
【内訳】	
純経常行政コスト	△383億円
一般財源等	397億円
その他	
期末(20年度末)純資産残高	1,621億円

バランスシートの構成比



行政コスト計算書の構成比



佐伯市の住民一人あたりの普通会計バランスシート

バランスシート

借方 (固定資産や株、預金などの資産がどれだけあるか)	
土地や建物などの固定資産	2,750,000円
株などへの投資	167,000円
現金・預金	116,000円

貸方 (資産を手に入れるために払ったお金と借金)	
借金	1,027,000円
すでに支払った額	2,006,000円
支払った額のうち国庫・都道府県支出金で支払った額	835,000円

佐伯市がこれまでに整備してきた道路や公共施設などの総額は、住民1人あたりで

2,750,000円

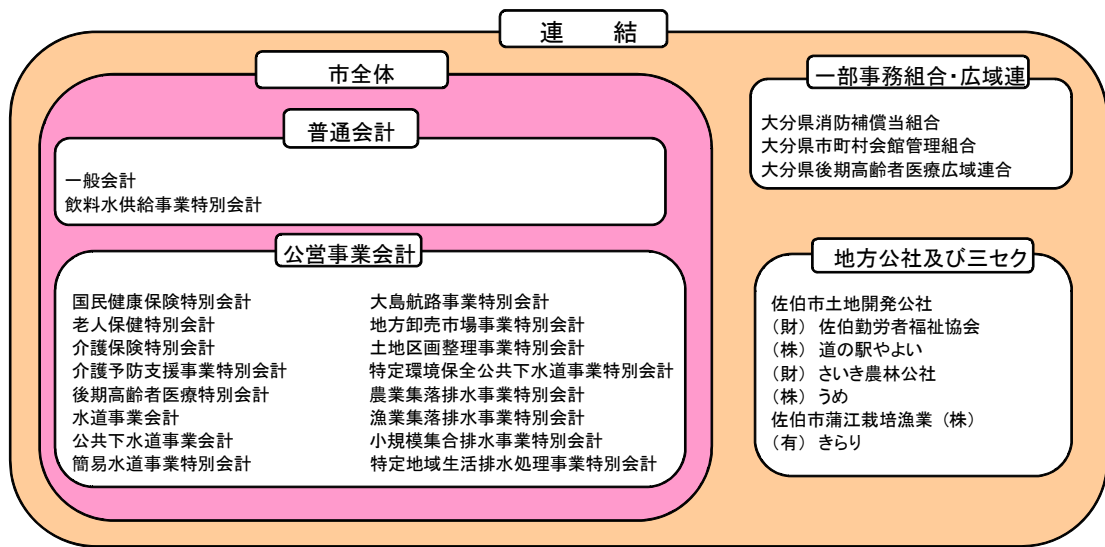
あります。次いで、現金・預金などのすぐに使える資産が多くなっています。

また、資産を作るために使われたお金の中で最も大きいものは税金などのいわゆる自治体の収入ですが、**地方債などの借金も約34%を占め**



わたしのまちはどうなってるの？

平成20年度 佐伯市の連結財務諸表(概要版)



市では、一般会計で行っている事業以外のほかにも、特別会計事業や水道事業、下水道事業など、市民の皆様に密接に関わり合いを持つ事業を行っています。他にも左図のように土地開発公社や、一部事務組合等の関係団体と連携協力して実施する行政サービスもあります。このように市の財政は一般会計のみで成り立っているわけでもないため、連結財務書類は、普通会計や特別会計に加え、公営企業会計及び市が一定割合以上を出資している関係団体や法人をひとつの行政サービス実施体とみなして

連結バランスシート

連結対象の各団体・法人をひとつの行政サービス実施体として、資産や負債のストック情報を網羅した財務諸表が「連結バランスシート」です。

資産 市全体の財産所有の内容と金額です。	3,092億円	負債 連結することにより下水道事業などの借入金などが加わっています。	1,085億円
【内訳】		純資産 現世代が既に負担して、支払がすすんでいる正味の資産です。	2,007億円
公共資産 道路、公園、学校、下水道、上水道など	2,819億円		
投資等 基金、出資金、長期延滞債権など	145億円		
流動資産 現金、預金、財政調整基金、市税未収金など	128億円		
うち歳計現金	104億円		
計	3,092億円	計	3,092億円

連結行政コスト計算書

「行政コスト計算書」の考え方を連結対象の団体や法人などにも適用し、ひとつの行政サービス実施体とみなして作成したのが「連結行政コスト計算書」です。

経常行政コスト(A) 【内訳】	689億円
人にかかるコスト 職員の給与・退職手当など	104億円
物にかかるコスト 物品購入、光熱水費、施設などの修繕費、減価償却費など	161億円
移転支的コスト 生活保護費や児童手当などの社会保障給付、各種団体への補助金、操出金など	373億円
その他のコスト 地方債の利子など	51億円
経常収益(B) 行政サービスの利用で市民の皆様が直接負担する施設使用料や手数料などです。	201億円
純経常行政コスト(A) - (B)	488億円
経常行政コストから経常収益を差し引いた純粋な行政コストです。	

連結資金収支計算書

「資金収支計算書」の考え方を連結対象の団体や法人などにも適用し、連結グループの収支の実態を表すのが、「連結資金収支計算書」です。

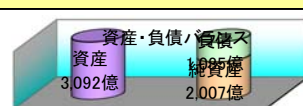
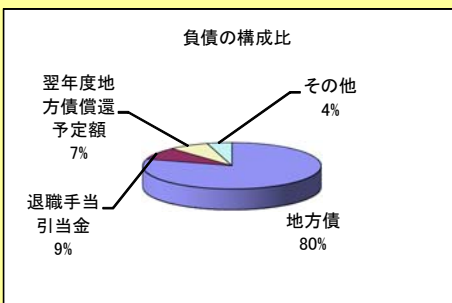
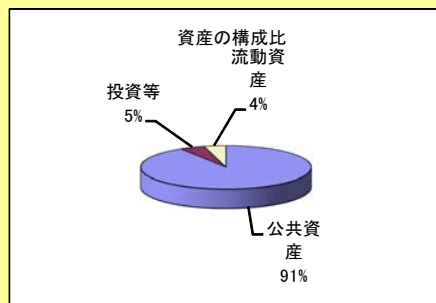
期首(19年度末)資金残高	97億円
当期収支	
【内訳】	
経常的収支	112億円
公共資産整備収支	△20億円
投資・財務的収支	△85億円
期末(20年度末)資金残高	104億円

連結純資産変動計算書

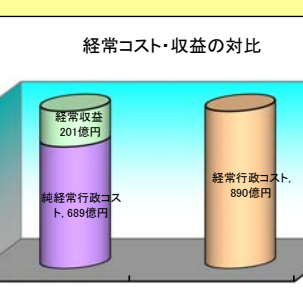
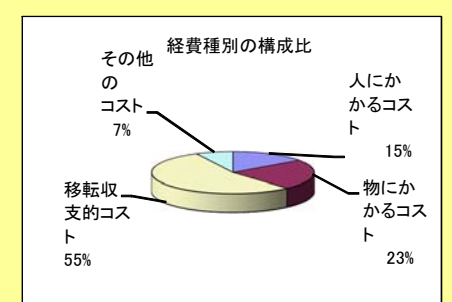
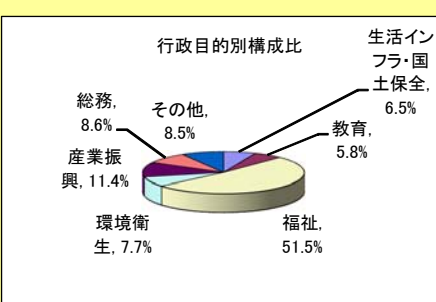
連結ベースでの市の純資産(正味の財産)が、平成20年度中にどのように増減したかを示します。

期首(19年度末)純資産残高	1,991億円
当期変動高	16億円
【内訳】	
純経常行政コスト	△488億円
一般財源等	495億円
その他	9億円
期末(20年度末)純資産残高	2,007億円

バランスシートの構成比


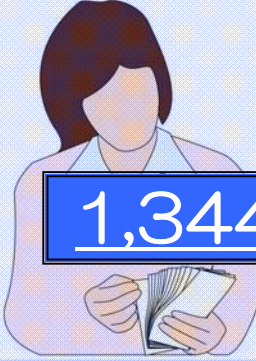
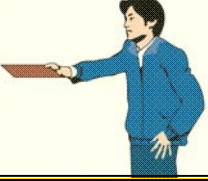
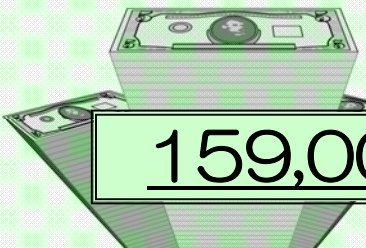



行政コスト計算書の構成比



佐伯市の住民一人当たりの連結バランスシート

バランスシート

借方 (固定資産や株、預金などの資産がどれだけあるか)	貸方 (資産を手に入れるために払ったお金と借金)																				
<p>土地や建物などの固定資産</p>  <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">3,489,000円</p>	<p>借金</p>  <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">1,344,000円</p>																				
<p>株などへの投資</p> <table border="1" style="width: 100%; font-size: 0.8em;"> <tr><td>CAC40</td><td>6,380</td><td>18HD1</td><td>↑ +1.86%</td></tr> <tr><td>SBF120</td><td>4,315</td><td>18HD1</td><td>↑ +1.69%</td></tr> <tr><td>SBF250</td><td>4,042</td><td>18HD1</td><td>↑ +1.55%</td></tr> <tr><td>MIICERC</td><td>2,667</td><td>18HD1</td><td>↑ +0.10%</td></tr> <tr><td>INDICE FM</td><td>4,450</td><td>18HD1</td><td>↓ -0.66%</td></tr> </table> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">180,000円</p>	CAC40	6,380	18HD1	↑ +1.86%	SBF120	4,315	18HD1	↑ +1.69%	SBF250	4,042	18HD1	↑ +1.55%	MIICERC	2,667	18HD1	↑ +0.10%	INDICE FM	4,450	18HD1	↓ -0.66%	<p>すでに支払った額</p>  <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">2,484,000円</p>
CAC40	6,380	18HD1	↑ +1.86%																		
SBF120	4,315	18HD1	↑ +1.69%																		
SBF250	4,042	18HD1	↑ +1.55%																		
MIICERC	2,667	18HD1	↑ +0.10%																		
INDICE FM	4,450	18HD1	↓ -0.66%																		
<p>現金・預金</p>  <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">159,000円</p>	<p>支払った額のうち国庫・都道府県支出金で支払った額</p>  <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">1,097,000円</p>																				

佐伯市がこれまでに整備してきた道路や公共施設などの総額は、住民1人あたりで

3,489,000円

あります。次いで、現金・預金などのすぐに使える資産が多くなっています。

また、資産を作るために使われたお金の中で最も大きいものは税金などのいわゆる自治体の収入ですが、地方債などの借金も約35%を占めて



わたしのまちはどうなってるの？